

五九一番

我が思おもひを 人ひとに知しるれや 玉たまくしげ 開ひらき明あけ
つと 夢いめにし見みゆる

五九二番

闇やみの夜よに 鳴なくなる鶴たづの 外よそのみに 聞ききつつか
あらむ 逢あふとはなしに

五九三番

君きみに恋こひ いたもすべなみ 奈良山ならやまの 小松こまつが下もと
に 立たち嘆なげくかも

五九四番

我がやどの 夕影草ゆふかげくさの 白露しらつゆの 消けぬがにもとな
思おもほゆるかも